



ご挨拶

2015年を迎えました。本年の皆さまのご健康とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

さて、JWTCでは昨年さまざまな催しを企画、実施いたしました。そのなかでも2013年に引き続き(社)日本旅行業協会と共催しました観光産業に働く女性に視点をあてたセミナーには、たくさんの方々にご参加をいただきました。ご協力をいただいた日本旅行業協会の方、またご参加の方々にご場をお借りして御礼申し上げます。

輝く女性たちへ

安倍首相は、「女性が輝く社会」を高らかにうたいますが、輝かされるのを待つてはられません。社会の中で私たちが自ら輝いてみ

せるぐらいの気概をもって働きたいものです。世界の政治、経済など、今年一年を考えても決して明るくだけではない旅行業界ではあります。みなさまと力をあわせ、旅行業界を輝くものにしていければと考えております。今年、役員も代わり新しい体制でのスタートになります。これまでのご理解に感謝するとともに、今まで以上にご支援、ご協力をいただければ幸いです。

第7代会長 ピコツア

戸井川 裕美子

JWTC勉強会

「メコン川流域の文化と自然の魅力およびクルーズ」

インドシナ地域の今後の発展性に期待 その魅力を探るべくセミナーに参加

2014年9月6日(土) 参加者16名(会員15名、ビジター1名)

メコン川流域の魅力を知る

講師はNPO法人メコン・ウォッチ理事の木口由香氏。タイやラオスを中心にメコン川流域の人々の暮らしを調査、記録し、政策提言や映画制作などの活動をされています。

メコン川流域の生態系の多様性の魅力と、自然資

源を生活の糧としている流域の人々の昔ながらの暮らし方や、現金収入を求めて変化してきた様子を説明していただきました。また、流域の開発や経済協力の人々の生活を脅かさないよう、生態破壊を招かないように保護活動をしていることを、淡々と、しかし熱く語ってくださいました。

旅行会社の関心を伝えることが大事



「メコン川流域」について丁寧に説明する講師たちと真剣にメモをとる会員たち

旅行会社はツアー造成のためにホテルインスペクション(施設見学)をします。その話題におよんだとき木口氏から、「水の浄化装置はどうなっていますか?」と、ぜひ、ホテルの側にお聞きになってください。旅行会社に関心を持っていると示すだけで、現地の人たちの考えを変える大きなきっかけになる

はずです」と言。今も、強い印象で心に残っています。

これからのリバークルーズ船「アクア・メコン」

講師にインターナショナルクルーズマーケティングのマネージャー山口彰子氏をお迎えして、小型豪華客船のリバークルーズ船「アクア・メコン」の紹介をいただきました。

海を航海する大型クルーズ船を、昨今は目にするものが多くなりました。リバークルーズ船は、それとは全く異なり、40名の乗客に40名の乗船員、「一流の食事、きめ細かなサービス」というのが特徴です。

アマゾン川クルーズで大成を収めた同社が、メコン流域文化に着目したことは、とりも直さず、メコン川流域の魅力が物語るから、と確信しました。小型豪華客船の販売マーケティングを考えながら、いつ

JWTC会員交流会

上海料理の名店で上海蟹に舌鼓

2014年11月19日(水) 参加者16名

9月の勉強会から来年2月の総会までの間、会員が集まる機会がないとのことで、会員限定の懇親会が開催されました。場所は、テレビ番組「孤独のグルメ」で紹介されて以来、予約がしつらいと話題になった地下鉄銀座線・外苑前駅の近く、上海料理の「青山シャンウェイ」です。

貸し切りとなった店内で、おいしい上海料理と瓶だし紹興酒を堪能しました。この日のお目当ての一番は、今が旬の上海蟹です。紹興酒に漬けた雌と、雌よりは一回り大きい雄を、それぞれ一杯ずついただきました。また、元来は裏メニューだったという「毛沢東スパアリブ」では、参加者全員の舌を痺れさせる独特の辛さを味わい、辛さのもとになっているオリジナルスパイスをお土産としていただきました。蟹を食して



貸し切りとなった上海料理「青山シャンウェイ」にて。旬の上海蟹を楽しみながらの会合となった

か自分自身も乗船したいものだと思えながら耳を傾けました。

今回は、メコンの自然を守る流れのお話と、それを商品化して売るといふ対極の話で構成されていましたが、どちらも興味深く、大変おもしろい勉強会となりました。

勉強会の後は、お待ちかねのランチタイム。会場でもある「サワディー」でタイ料理の魅力堪能しました。どの料理もとても美味しく、タイビールも料理にあいます。スパイシーな料理と、おもてなしを満喫でき、有意義な昼のひと時となりました。

(木村晃子 シイエイエ)



る間は、しばしの静寂かと思いきや、JWTC会員に限って旺盛な食欲とにぎやかな会話は尽きることはありませんでした。

会の途中では、ミキサーリストの西垣会員から、お得なクルーズ情報が紹介されました。2015年春、ボイジャー・オブ・ザ・シーズクルーズの済州島から沖縄日本を巡る6〜9日間のコースが30%引きで利用できるという内容に、箸を持つ手を休めて、パンフレットに見入る会員も見受けられました。

会員相互の久しぶりの会合は時がたつのを忘れるほど有意義な一夜となりました。後日談ですが、お土産でいただいたオリジナルスパイスはにんにく、唐辛子、乾燥海老、クミンなどからできているとのこと、家庭の料理を变身させるマジックスパイスでした。ラーメンやカレーに入れて、そのスパイシーな味わいに懇親会の一夜を思い出しました。

(長野久絵 東京都公園協会)



名古屋支部だより

名古屋支部 第2回勉強会

「旅と健康ハイキング・近江八幡」

2014年6月7日(日) 参加者7名(会員7名)

2013年に「旅と健康ハイキング」をテーマに勉強会を開催し、2014年度はその実



キャブ池田町洋風住宅(ヴォーリズ建築)前にて

地研修を、日帰りバスツアーを利用して行いました。コースは年齢・体力的に初級コースであること、ハイキングのキーワードである「健康・未知・自然・歴史」プラス食事を考慮して、「近江八幡ハイキング」に決定しました。

去る2014年6月7日は、梅雨時のすっきりしない天気でしたが雨もやみ、普段の運動不足を解消するには十分なコースでした。建築家であり、メンソレータムの近江兄弟社を創業した事業家でもあるヴォーリズ氏の歴史を知り、近江商人の住宅が立ち並ぶ露地を歩き、日傘・八幡宮参拝。八幡堀の水辺に咲く菖蒲と緩やかな川の流れば、心も体も癒してくれました。お楽しみの昼食は、酒蔵を改装した「酒遊館」。近江八幡名物(近江牛、赤こんにやく、丁子麩からし味噌和え、小鮎の佃煮)にお腹も大満足。この日はぐっすり眠れたのは言うまでもありません。

名古屋支部 第3回勉強会

「名古屋再発見 揚輝荘見学」

2014年10月25日(日) 参加者9名(会員9名)

「ご存じ」名古屋再発見」のテーマで2014年10月25日に、松坂屋の初代社長・伊藤次郎左衛門祐民(すけたみ)の別邸「揚輝荘(よきそう)」の見学を行いました。

祐民は、名古屋経済の発展に尽力した実業



聴松閣前にてハイポーズ

した見学会になりました。

名古屋支部 草次昌子

園の伴華楼(はんがろう)」、上高地の帝国ホテルに類似する「南園の聴松閣」を代表とする貴重な建物数棟と庭園を残すのみとなっています。最近では名古屋市内に寄贈され、修復が始まろうとしています。風雨にさらされシミの残る壁。当時の面影がそのまま残る揚輝荘を見学できたことは、歴史を肌で感じる貴重な時間でした。

JWTCホームページを活用しましょう!

JWTC日本旅行業女性の会

ホームページアドレス

<http://jp-jwtc.org/>

JWTCのホームページには、当会の紹介や活動内容、ニュースレターのバックナンバー、会員向けのお得な情報などが掲載されており、会の情報を一挙に知ることができます。ご友人などに入会を勧めるさいにも役に立つ情報が満載です。積極的に活用して、JWTCの存在を広めましょう!



★名古屋支部おすすめ情報

「野菜だし」のお取り寄せ

銀の森

<http://www.ginnomori.jp/>
から購入できます。

最近の雑誌で、話題のベジブロスの特集を目にしました。ベジブロスは、普段は捨ててしまいう野菜のヘタ・皮・タネなどをコトコトと煮こんで作る野菜のだしのこと。この出し汁にはフィトケミカルという栄養がたっぷり含まれています。抗酸化作用があり、免疫力アップやアンチエイジング効果があると聞けば、もったいない! だけでなく試してみたいと思っ人は多いのではないのでしょうか。



野菜のヘタ・皮・タネなどをコトコト煮込んだ「野菜だし」はスープでも唐揚げでもよし!



忙しいあなたにはこれっ!
岐阜県は恵那峡近くにある「恵那 銀の森」にある「おくと」で「野菜だし」を見つけた。野菜の甘みと旨みを味わうことができます。ティーバック状になっているので、簡単にだしを取ることができます。

取るができます。鍋料理はもちろん、炒め物に、鶏肉にまぶして唐揚げにと、あつという間に使いきってしまう。調理の時短になって、仕事に追われる方々に役立つ一品になるとまながいなし。宗田節と焼きあごをベースにした「菘だし」と合わせてお勧めです。

揚輝荘は別邸全体の総称

戦争による消失や開発を経て、現在は「北

家であり、経済人。歴史を紐解くと、織田信長の「本能寺の変」までさかのぼります。信長の側近であった伊藤蘭丸祐道(すけみち)が、本能寺の変により主君を失い、武士を捨て商人になったことが始まりです。祐道から15代目の祐民が、覚王山日泰寺の東南に隣接する1万坪の森を拓いて築いた揚輝荘は、皇族から文化人、外国人の迎賓館、社交場として繁栄しました。また、多くの留学生を受け入れ、松坂屋独身寮としても使用されてきた歴史は、大変興味深いものがあります。

ツアー内容を目指しています。おかげで、最近の私の頭の中は京急沿線のことについて。一種の職業病じゃないかと周りには心配しています。

三浦半島について紹介しましょう。三浦といえば「三崎のマグロ」ですが、実は「真珠の養殖発祥の地」なのは知られていないようです。ジュエリー会社キモトの創業者、御木本幸吉氏との共同研究によって養殖技術の開発が始まり、戦後まで養殖していた業者もありました。いつしか「三浦産真珠」は忘れ去られてしまいましたが、2013年、「三浦半島真珠復活プロジェクト」が開始しました。まずは、養殖用の母貝を増やすことから始めています。私も研究室へ見学に行きましたが、気泡だらけの水槽がボツーンとあるだけ。説明がなければ、その気泡が貝になるなんてとても想像がつかない。道のりはまだまだ遠そうですが、「三浦と言ったら真珠!」といわれる日が来ることを願っています。

三浦半島のもう一つの顔「横須賀」

横須賀には、最近話題の東京湾に浮かぶ唯一の無人島「猿島」があります。今年の夏休みに行きたい海水浴場BEST3に選ばれました。対岸には、アメリカ海軍基地や海上自衛隊基地が建っていて、その湾内を約1時間かけて周遊する「軍港めぐり」のクルージングが今一番人気の観光資源となっています。米海軍と海上自衛隊の艦船を一度に間近に見られるのは、日本中でここだけだそう。船のデッキから手を振ると基地側からも手を振り返ってくれて、とても平和な光景を目にすることができます。

海あり山あり、異国情緒に溢れ、そして昭和の香りもする一種独特の雰囲気を醸し出す三浦半島に、皆さまもぜひ一度、足を運んでみてください。

次回は、エース損害保険の大江智子さんにバトンを渡します。

Relay Essay

リレーエッセイ

私を魅了する三浦半島

京急観光株式会社
石割裕子(会員番号439)

品川から三浦半島を赤いボディに白のラインで走る姿が鉄道マニアに大人気の京浜急行電鉄が、弊社の親会社です。

今、三浦半島は人口減少にあり。横浜から30分という地域にも関わらず、沿線住民が減ってきている現状を回避しようと、数年前より京急沿線を盛り上げるために、グループ全体でさまざまな取り組みを始めています。

京急観光も今年から沿線集客部を新設し、三浦半島のPR事業に取り組んでいます。私の担当は、京急沿線にある企業やグループ施設、自然などを



軍港めぐりのワンシーン「長浦湾の海上自衛隊護衛艦」

テーマにした体験型ツアーの企画作成です。大人と子供向けにターゲットを分け、普段なかなか体験や見学ができない施設などを組み込んで、少しプレミアム感のある



那須の秋冬の楽しみ方

2013年に訪れたJWTC親睦旅行は新録の那須・憧れの二期倶楽部と題し、美しい新録の季節を満喫し、二期倶楽部の魅力を堪能した旅でした。今回はひと味違った那須の秋冬の楽しみ方を紹介します。

那須の秋冬のおとずれ

那須の山々は10月の声を聞くと、山頂から山麓へ、ひと月ほどかけて紅く染めていくさまが印象的です。那須連山の主峰・茶臼岳へは、ロープウェイで9合目まで行き、眼下に広がる素晴らしい紅葉の景色を思う存分に楽しむことができます。そこから山頂へは、約50分の登山で到着。紅葉のシーズンは夏山終了の合図でもあり、この時期に閉山祭が行われ、季節は冬へと移ります。

那須連山が雪化粧をし始めるころ、羽田（はんだ）沼に白鳥が飛来します。約百羽の白鳥たちと千数百羽のカモは3月末ごろまで、冬をここで過ごします。この白鳥はオオハクチョウで、観光客だけでなく、地元の人たちも訪れる人気のスポット。オオハクチョウの飛ぶところを見たい人は、早朝に訪れるとよいそうです。那須には「九尾の狐伝説」があります。中国・天竺（てんじく・現在のインドのあたり）を経



季節は真っ白な雪景色へと向かう那須連山



もみじ狩りと紅葉

て日本にやってきた九尾の尾をもつ狐は、絶世の美女「玉藻の前」に化けて帝をだまし悪事をはたらきました。九尾の狐は陰陽師によって見破られ、大きな石に変えられたという伝説です。殺生石には狐の化身といわれる岩が今もなお、退治された恨みを抱いて毒気を吐いているという事です。

また、俳人松尾芭蕉もこの地を訪れ「奥の細道」に、「殺生石は温泉の出づる山陰にあり。石の毒気いまだ減びず、蜂蝶のたぐひ 真砂の色見えぬほど重なり死す」と書き、次

の句を詠んでいます。

石の香や 夏草赤く 露あつし

(芭蕉)

今では、九尾の狐は「きゅーびー」という那須のキャラクターになっていて、那須町観光大使として活躍しています。また、九尾の狐の名前を付けたビールが毎年秋に登場。その名も「ナインテイルドフォックス」という那須の地ビールです。ビールを熟成させる珍しいビールとして2014年もリリースされましたが、現在は1998年のヴァンテージものから入手できません。このヴァンテージビールを暖炉の前で味わうのも冬の楽しみ方の一つといえるでしょう。

冬が終わりに近づくと、湿地にはミスバシヨウに似た暗紫色の「ざぜんそう（座禅草）」が咲き始め、春が近いことを教えてくれます。群生地では100〜200株のザゼンソウを見ることが出来ます。そして那須には春が訪れます。

(桑垣美砂子 二期リゾート)

連載 狩野知保のサンパウロ便り

H.I.S. Brasil Turismo Ltda.

第5回 | ブラジルの美食と冷えたビール

駐在先がブラジルで良かった、と思う大きな理由に食環境があります。ダイナミックな肉のシェハスコや豆料理のイメージがあるかと思いますが、さすが移民の国だけあって各国の料理を東京さながらに楽しめます。ブラジル料理も地域によって特色があります。中でも北東部のMOUQUECA(ムケッカ)という海鮮シチューは白いご飯にぴったりで、海鮮料理もなかなかのものがあ

ります。日本から一番遠い国ですが、豊富なブラジル産日本食材を手軽に購入することができます。日本からの輸入ではなく、当地で作られた味噌や醤油は、ちよびりブラジル風味ではあるものの、和食調味料や食材がスーパーの棚に常設されているのは、やはり日系移民が多いからでしょう。それでもたまに本物の味が恋しくなると、日本での価格の3倍はするという高価な輸入品について手が伸びてしまいます。

フェイラと呼ばれる青空市場で毎週必ず食べるPASTEL(パステオ)は、長方形の巨大揚げ餃子のような食べ物です。中はチーズやひき肉などおよそ10種類から選べるのが魅力。日系移民の作った餃子がルーツともいわれますが、それにしてもかなりの大きさです。さしずめブラジルのファストフード、揚げたてのアツアツを一度食べたら病みつきになります。

ランチタイムの人気は、Por Kilo(ポルキロ)と呼ばれる「食べた分だけお支払い」の量り売りレストラン。Por Kiloとはキログラム単位という意味で、セルフサービスで好きな物を好きなだけ取ります。工夫次第では上手な食べ方があるようで、骨付き肉や皮つきスイカなどは高くつくから取らない。汁気の多い料理はそと取り分けて、できるだけ水分を皿によそらないなど、食事をする前に頭を使う「目方でドン」が楽しみ。

おいしい食事もあることながら、何よりもありがたいのは、ビールの安さです。仕事の後の冷えたビールは最高! お値段もこれまたびつりの1缶およそ100円。外で飲むなら、大衆軽食堂のBAR(パール)で冷えた生ビールCHOPP(ショッピ)をどうぞ。注いだ瞬間にシャーベット状になることもあるのは、ビール専用冷蔵庫で-5℃前後に冷やしているからだろう。日本のビールは冷やしすぎるとおいしくないとわれますが、こちらのビールは口当たりが軽いので、このぐらい冷やした飲み方が合っている気がします。

食事は旅の重要な楽しみです。ブラジルの魅力を多くの方に知っていただき、旅行したいと思っていただけるよう、これからいろいろな食べ物、飲み物に挑戦していきます。次号もお楽しみに。

Chiho Kano

JWTC会員からのお得情報

神々の島に降り立つ ザ・リッツ・カールトンから JWTCメンバーだけに贈る“スパ”を期間限定で

2014年12月15日、神々の島パリティにザ・リッツ・カールトンが誕生いたしました。ザ・リッツ・カールトン パリティはヌサドゥア、サワガン地区に位置し、13ヘクタールの敷地に広がる真っ白なビーチフロントとクリフトップに合計313室のスイートルームとヴィラ。客室からは素晴らしいインド洋や緑豊かな庭園が望めます。



ジャパニーズバーやインドネシア料理レストラン、ビーチフロントのシーフードグリルなど、各種レストランも充実。ジムやスパ、プールもお楽しみいただけます。見事に自然との調和を保つこのリゾートで、リッツ・カールトンのおもてなしを存分に堪能ください。



上:リゾート全体(イメージ) 下:客室(ザ・サワガンラグーン アクセスジュニアスイート)

JWTCメンバー特典

ホテルより、**スパ30分(肩首15分&フットマッサージ15分)**または、**肩首15分&フェイシャルマッサージ15分**を2015年11月30日まで提供いたします。

*4月までは一部ご利用いただけない客室、施設もございます。スパ施設は4月以降、それまではルームでの対応となります。

■予約・問い合わせは Tel#: 03-6434-8731 email: ruiko.izaki@ritzcarlton.com (JWTC会員専用)へ

(情報提供: 伊崎留為子 ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー)

新入会員紹介

会員番号444 株式会社アサヒホリデイサービス アジアンキッチンサワディー



初めまして、2014年10月に入会しました廣瀬訓子(ひろせのりこ)と申します。弊社(株)アサヒホリデイサービスは、インバウンドの旅行業と飲食業を営んでおり、現在は、飲食部門「アジアンキッチンサワディー渋谷店」にて店長を務めております。

入会のきっかけは、当店にてJWTCの勉強会が開催された折、店員という立場でありながら、誰よりも興味深々に拝聴させて頂きました。

小さいころより世界中を訪れたいという強い願望があり、客室乗務員、在邦ラオス人民民主共和国大使館勤務を経て現職。飲食業の他、日本の地域活性化のモデル都市づくりや日本人の海外ステイのご提案をさせて頂いております。これからは、日本と海外を繋ぐ事に関わって参りたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。

私のふるさと 自慢

第4回 神奈川県茅ヶ崎市 有元恵子

Tシャツ、短パン、ゴム草履、これが幼少のころより慣れ親しんでいる一番のお気に入り。常々、真夏のJR東海道線の通勤にはゴム草履で行きたいと思いついていました。仕事場がずっと都心だったので、第二の職探しでも、住まいに近い横浜よりも遠い東京にしたのは、お仲間が多いから。ネットになったのは高額な交通費でした。それでも都内に住みたいと露ほども考えず、ずつとここに暮らしているのは「なぜかしらん」と、今回あらためて考えてみることにしました。

アリモトニトツテノ チガサキハ ジモト

私にとつての茅ヶ崎は、ふるさとというより地元なんです。この地ならではの珍しい物、名物といえるものはなんだろう…、シラスに豊鯛くらいでしょうか。いえいえ、これらは鎌倉から相模湾沿い、湘南一帯の産品であり茅ヶ崎独自のものはいえませんが。

ネパールで仕事をしてきた折、帰ったら食べたいのは納豆とシラスでした。友人が漬けてくれた梅干しは持参できたものの、海のないネパールではタイ国からの輸入魚しかありませんでしたから、戻ると早々に近くの店で生シラスを調達できるのは、ありがたいことでした。

特別には何もないこの土地を選んだのは、海が大好きな父でした。東海道線を降りて駅の階段を下りると、潮の匂いがする時もあります。都心よりほんの少し暖かく感じられる空気に、ホッとする瞬間です。近所の家もまばらだった住み始めのころ、海の近くには南湖院という結核療養所がありました。温暖な気候というこの地に、広尾・日赤病院の、当時では珍しかった保育器から移ってきたばかりの未熟児の私も、海辺のマイナスイオンと日光のおかげで、小さくも元気に育ちました。

声を大にして言えることはありませんが、海のある日常の中で、この地を通り過ぎながら関わりを持ち、持ち続けている人たちによって、ゆっくりと温かく育まれてきた文化が、この地の魅力だと思っています。釣りをするため、創作活動をするため、この地を選んだ九代目團十郎、小津安二郎監督。そして若大将やサザンなども含めた個性的な住民たちが、海からの恵みと豊かな風土の中で醸しだす、独特なリズムがこの街には流れていると感じます。

Listeningを基盤とする英語学習法の「茅ヶ崎方式」もその名の通りで、1981年に、この地で創設されました。今も良心的に地道な活動を続けています。コンパクトな街では、それゆえに日々の出会いに癒されます。お庭で花店を



営まれていたり、センスよし、コストパフォーマンスよしのネイルショップがあったりと、魅力的です。海岸からの雄大で美しい富士の眺め、小さなこだわりパン、美味しい黒胡麻パンを買いに、網元によつて異なるシラス料理を味わいに、どうぞ次の休みには、開放的でのんびりの茅ヶ崎を、ぜひ体感しにお出かけください。



Chigasaki city

烏帽子岩(エボシイワ)。岩礁で正式名称は姥島(うばしま)。烏帽子に似たユニークな形は茅ヶ崎のシンボルです

第35回 JWTC日本旅行業女性の会総会 開催のご案内

今年度は役員改選の年です。



多数の会員が参加した昨年の総会

第35回総会を下記の通り開催いたします。

日時：2015年2月28日(土)14時より(予定)

場所：銀座フェニクスプラザ

※地図をご参照ください。



*総会終了後に「懇親会」を予定しています。詳細は追ってお知らせいたします。

(近藤多津子 エムオーツーリスト)

JWTC NEWSLETTER

JWTC ニュースレター 秋号 vol.35-1

発行日 2015年1月1日

発行人 戸井川裕美子

編集長 千葉千枝子

発行所 日本旅行業女性の会

編集制作 日本旅行業女性の会 広報戦略部 本多美知子

印刷デザイン 株式会社 誠晃印刷

お客さまからの「ありがとう」の言葉は旅行業界に働く者にとつてこれは麻薬のよう。売上や送客人数などの目標数値を達成することも大変嬉しいですが、お客さまの「この一言」は何ものにも代えられません。この言葉を聞きながら「この一言」はしたらお客さまが喜ぶのかを、われわれは日々知恵を絞って考えます。

同時に心がけているのは、自らも感謝を表すことです。お客さまはもちろん取引先、同僚、その他関係各所へ。「いつもクレームばかり」「なかなか回答がない」など、つい愚痴が先にこそ、人と人とのつながりは重要で、この仕事が無形サービスであるからこそ、人と人とのつながりは重要で、相手に感謝を伝える感謝を受ける、そんな輪をつなげていくような仕事をしたいと日々願っています。(Y.N.)

編集集一後一記

JOIN US!

入会のご案内

私たち日本旅行業女性の会(JAPAN WOMEN IN TRAVEL CLUB, 通称JWTC)は、1980年に発足した旅行関連産業で働く女性の会です。

***会員相互の親睦をはかり、旅行文化の向上に寄与する**

***会員の専門知識、能力を生かし、社会への貢献を図る**

という目的を掲げ、勉強会や親睦会等の活動を続けています。

会員には旅行会社やホテル、ツアーオペレーター、航空・クルーズ、または旅行関連のメディアや保険会社など、ありとあらゆる旅行に関連した企業、団体に所属する女性たちが集い、日々、研鑽を積んでいます。現在のメンバー数は、約70人。会員一人ひとりが業界のプロです。その高い専門知識や経験、技術を、共通の財産として、次代を担う業界女性にバトンタッチしていくことを目標に、「広げよう!人の輪 旅の輪」をキャッチフレーズに掲げ、活動を行っています。

入会資格は、まずは女性であること。そして、旅行関連の会社・団体等に勤務していること、この2つです。皆さんも、ご自身の会社から一歩、外に飛び出て、私たちの仲間に加わりませんか?業界を支える女性たちの話を聞くことで、刺激や勇気を得ることができます。

ご興味を持っていただいた方は、ぜひホームページ(<http://www.jp-jwtc.org>)で私たちの活動をご覧ください。お問い合わせや、お申込みは、広報戦略部・千葉千枝子 info@longstaystyle.com まで。皆様のご入会をお待ちしています。